

世界一楽しい学校の創造 「さらなる学力向上と言語活動の充実、特色ある教育活動を通して」

1 学校教育の基盤

学校教育は、国が定める憲法・教育基本法の精神を踏まえ、関係関連法規等に基づいて行われる日本の公教育を実施する場である。生徒や地域の実態に応じて「知・徳・体」の調和がとれた人間性豊かな児童生徒の育成を図ると共に、未来の社会を構成する一員として、21世紀の変化の激しい世の中をたくましく生きる心身ともに健全な国民の育成に努める。また、保護者・関係機関の負託に応え、その期待や信頼、生徒の思い・願いを実現する学校を目指す。

2 学校教育目標、めざす児童生徒像・教師像・学校像

【教育理念】

一人一人の資質・能力を伸ばし、広く国際社会に貢献できる人間の育成をめざす

【学校教育目標】

豊かな心と学ぶ意欲にあふれ、自己の目標に向かってねばり強く取り組むことができる子どもの育成

【めざす児童生徒像】

- ・よく考える子
- ・思いやりのある子
- ・進んでやり抜く子
- ・強くたくましい子
- ・日本もベネズエラもよく知る子

【めざす教師像】

- ・自ら考え、課題を解決し、成長し続ける教師
- ・児童生徒の安全・健康・成長を第一に考える教師
- ・児童生徒の学習状況を把握し、個に応じた教育を行う教師
- ・真摯に努力し、保護者や地域から信頼・尊敬される教師
- ・自己研修・相互研鑽に努め、実践実行する教師
- ・評価や結果を冷静に把握検討し、改善していく教師
- ・ポジティブシンキング・ポジティブアクション

【めざす学校像】

- ・「素直・笑顔・感謝・努力」を大切にし、児童生徒が安心して安全に生活できる学校
- ・保護者・関係者に愛され、信頼され、開かれた学校
- ・「師弟同行」「凡事徹底」がなされる学校
- ・自然に対する畏敬の心を持ち、美しいものに感動し、様々な価値観を認め合える学校

【今年度の合言葉】

「日本語めちゃ楽しい！」

学校の経営課題

児童生徒数の減少、日本語を母国語としない児童の入学に伴い、日本語習得教育とともに、児童生徒数確保が喫緊の課題である。

ベネズエラという地理的制約。政情不安、事故、震災等における危機管理。保護者・関係機関との連携が重要。

ベネズエラを愛し、関係機関との連携を深め、行事への参加等を促し、理解・信頼を得る必要がある。

学校の教育課題

日本語習得を含め、教師の授業技術が児童生徒の学力向上に直結している。常に授業の工夫改善に努めなければならない。

児童生徒の安全を第一に考え、安心して学べる学校に努めなければならない。

開かれた学校として、日本の教育の素晴らしさを現地に伝えることを推進していく必要がある。

今年度の重点

さらなる学力向上

課題解決学習をエンジンとして、指導と評価の焦点化を図った授業づくり

言語活動の充実

言語活動を充実し、判断力・表現力・思考力を培う
日本語習得の促進

特色ある教育活動の推進

教育課程や行事の小中連携、防災・安全教育の推進、和太鼓演奏の充実
開かれた学校、公開授業、日本の教育の素晴らしさを伝える活動
日本語習得活動の工夫

さらなる学力向上



言語活動の充実



特色ある教育活動の推進



